

こおりやま 市議会だより



第201号 - 令和4年6月定例会 -



読みたい本がいっぱい！
(中央図書館再オープン)



郡山市

発行日：令和4(2022)年8月1日
発行：郡山市議会
編集：郡山市議会広聴広報委員会
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810
メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

特集【定例会】を解説	2、3頁
議決結果等	4頁
常任委員会の審査状況	5頁
市政一般質問	6～15頁
特別委員会	15頁
政務活動費、議員表彰、次回開催日程	16、17頁
議会モニター募集	18頁

特集

市議会の大切な仕事【定例会】を解説！

郡山市を運営していく上で重要な条例や予算などを決定する定例会について、今回の6月定例会のあらましと併せて御説明します。

チェック！

－ 定例会って？－

決まった時期に開かれる会議です。郡山市議会では年4回（3月・6月・9月・12月）と条例及び規則に定められています。
定例会以外に、災害復旧など緊急な事案があるときに開催される会議を臨時会といいます。

①開会日 6月15日

- ・ 会期の決定 ・ 諸般の報告
- ・ 郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会中間報告
- ・ 市長の提案理由説明

－ 解説 －

提案理由説明とは、市当局で提案した条例、予算や人事案など、議会で話し合う議題について市長が説明します。



②議案調査（休会日）
6月16・17日

－ 解説 －

議案調査は休会日に行われます。市当局から議案の説明や質疑が行われます。



ポイント！

－ 議案調査－

議案調査では、議員自身が所属する常任委員会以外の議案についても詳細な説明を受けることができ、議案に対する理解を深めます。

30日 (木)	29日 (水)	28日 (火)	27日 (月)	26日 (日)	25日 (土)	24日 (金)	23日 (木)	22日 (水)	21日 (火)	20日 (月)	19日 (日)	18日 (土)	17日 (金)	16日 (木)	6月15日 (水)
本会議	休会	④常任委員会		休会	休会	本会議	本会議	本会議	本会議	休会	休会	休会	休会	休会	本会議
⑤閉会日	事務整理日					③市政一般質問				事務整理日			②議案調査		①開会日



議場のある西庁舎

③市政一般質問 6月21～24日

・4日間 16名 (詳細6～15頁)

－ 解 説 －

定例会で各議員が市政に対する質問を行います。質問内容は、予算、計画、各種制度、市民に身近な問題など多岐に渡ります。



※感染拡大防止のため、議員の約半数は別室で中継を視聴しました。

④常任委員会 6月27・28日

- ・付託された議案22件、請願5件の審査
- ・令和3年度議会PDCA事業の進捗確認
- ・令和4年度議会PDCA事業選定 (詳細5頁)

－ 解 説 －

各常任委員会で議案や請願について審査し、賛成・反対の採決を行います。その結果を本会議で報告します。また、必要に応じて現地調査を行います。



ポイント!

－常任委員会－

郡山市議会では、専門的に効率よく審査、調査するため、分野ごとに4つの常任委員会が設けられています。



議場



傍聴席

⑤閉会日 6月30日

- ・各常任委員会の審査結果報告
- ・採決結果 (詳細4頁)
- ・賛成反対の討論4人
- 議案・・・可決及び承認22件 請願・・・採択1件、不採択4件
- 意見書・・・可決1件
- 追加提案 人事案件・・・同意4件 議案・・・可決1件

－ 解 説 －

各常任委員会の審査結果報告や賛否の分かれた議案等に対する討論など行います。その後、議長を除く全議員で、議案や請願等の採決を行います。



議案概要
(財政課)

今年度も議会報告会開催決定！詳細は、こおりやま市議会だよりの次回号でお知らせします。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件 名		議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）										
			志 翔 会	新 政 会	郡山市議会公明党	緑 風 会	立 憲 民 主 党 郡 山	自由民主党郡山市議団	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無 所 属 の 会	立 憲 民 主 党	国 民 民 主 党
			8人	8人	4人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人
補正予算	一般会計（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
	国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	※	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
条例改正	郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	郡山市都市公園条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○
請願	非核三原則の堅持について	不採択	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×
	消費税インボイス制度の実施中止に関する請願書	不採択	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○
	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書の提出についての請願	不採択	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
	動物を虐待から守るための法整備を求める意見書提出の請願書	不採択	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○

※賛成7、反対1

全会一致で可決した議案等

補正予算	一般会計（第6号）
	後期高齢者医療特別会計（第1号）
	工業団地開発事業特別会計（第1号）
	農業集落排水事業会計（第1号）
条例改正	郡山市議会議員及び郡山市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例
	郡山市税条例
	新型コロナウイルス感染症により収入が減少した者等に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例
その他	工事請負契約（準用河川徳定川河川改修工事、校舎長寿命化改修事業（大島小、永盛小、赤木小）、郡山西部第一工業団地造成工事）
	工事請負契約の変更（麓山地区立体駐車場建設工事）
	財産の取得（消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車、テレビ・テレビ台）
	財産の処分（土地）
	損害賠償請求事件に係る訴訟の和解
	専決処分の承認を求めること
	郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任
	郡山市財産区管理委員の選任（月形、舟津、館）

全会一致で採択した請願

■地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

全会一致で可決した意見書

■地方財政の充実・強化を求める意見書

補正予算の事業一例

令和3年発生災害復旧事業【開成館の総点検】



市議会ウェブページから詳細を御覧ください。



議案等に対する
各議員の賛否



請願文書

常任委員会の審査状況

総務財政常任委員会

問 度重なる地震により労働福祉会館の利用制限が続いたが、補強工事等の計画は。

答 災害復旧工事により、大ホールの天井、内壁等修繕を実施したところであるが、今後、施設の特性を見極めながら、施設長寿命化の中で検討していきたい。

建設水道常任委員会

問 開成山公園内駐車場の有料化による出口の渋滞対策は。

答 ゲートの出口精算機以外にも事前精算機を設置することで、出口での料金支払いが不要になることから、渋滞緩和が図られると考えている。



国道49号線側出入口

環境経済常任委員会

問 宿泊施設環境整備支援事業の補助内容の例にある宴会場の個室化等への改修とは。

答 コロナ禍により個人旅行やワーケーション等の新たな顧客ニーズが顕在化している中で、多様なニーズに対応するため、大広間の宴会場を区切り、個室化を図るなど施設の改修等が該当する。

文教福祉常任委員会

問 障がい者の情報格差解消に向けた事業とは、どのような取り組みを行うのか。

答 視覚・聴覚障がいのある方に、スマートフォン等の操作や便利機能を体験いただき、導入の不安を解消し情報ツールとして有効に活用いただけるよう、障がい種別や程度に応じた操作講習会を開催する予定である。

令和4年度議会PDCA事業を決定！

今定例会で次のとおり今年度の対象事業を選定し、今後、定例会ごとに当局からの報告を受ける予定です。

■総務財政常任委員会

- ・旧豊田貯水池利活用事業
- ・（仮称）郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業



工事中の公文書館立体駐車場

■建設水道常任委員会

- ・五百淵公園里山再生事業



整備前の暗い森林空間

■環境経済常任委員会

- ・体感型環境学習施設の整備事業



体験施設を整備予定の富久山クリーンセンター

■文教福祉常任委員会

- ・統合型校務支援システム

議会PDCAとは？

計画↓実行↓評価↓改善の4段階を繰り返して、業務を改善する手法です。

郡山市議会では、議会改革の一環として令和元年度より導入しました。

Plan
Do
Check
Action

令和4年6月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 16名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)

・ 中央図書館 ・ 希望ヶ丘図書館

・ 安積図書館 ・ 富久山図書館

なお、令和4年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム

災害時のボランティアとの協働について



立憲民主党

吉田 よしだ

公明 議員



情報収集の役割の明確化について

問

6月に新地町と技術系専門の災害ボランティア団体で災害時協力協定が結ばれた。本市でも重機や高所作業の技術を有する災害ボランティア団体等の受け入れを積極的に行うべきと考えるが見解は。

答

新地町の取組みも参考に、専門性の高い全国的なボランティア団体の受け入れ体制の整備について検討する。

また、市社会福祉協議会をはじめ、ボランティア団体、

地域住民、関係機関等との自助・互助・共助・公助による協奏のもと、災害からの一日

も早い復旧と、被災者の効果的な

支援に取り組んでいく。



屋根上での作業

問

災害対策本部情報収集班の役割分担を明確にしても市長、副市長、総務部長の伝達の中で重要な情報が失われていく反省に立って、情報収集の役割を簡潔明確にすべきと考えるが見解は。

答

東日本台風時の教訓を踏まえ、災害対策本部事務局の情報収集班を8人から17人にするなど、体制強化を図った。具体的な役割は、国などの関係機関、庁内関係課、市民から寄せられる情報を種類別に4つの班に分担し、更に、班の中で、電話等に対応する者、本部へ連絡する者など、明確に役割分担を決め、適切に対処する体制を構築した。



国民民主党

渡部 わたべ

龍治 りゅうじ 議員



市役所DX※推進の検証について

問 カイゼン計画を立てた結果、労働効率化・労働生産性の向上・労働の質の向上がどの程度図られたのか。

答 主な取組みとして、施設使用料等のキャッシュレス決済や電子入札の導入等による5レス※の推進、全国初の要介護認定事務へのAI活用などのカイゼン運動による892件、2万678時間の業務時間の削減、り災証明発行事務等、26業務、3千100時間分の業務の自動化等により、業務の効率化、生産性の向上が図られた。

今後も更なる業務効率化等、ポストコロナに資する働き方改革を推進していく。

※DX：デジタルトランスフォーメーション。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
※5レス：本市では、ペーパーレス、ファイルレス、キャッシュレス、会議（ミーティング）レス、カウンター（窓口）レスのこと。

Jアラートによる緊急情報伝達の本市の対応について

問 緊急情報を伝達の際、特にミサイル攻撃等に対応した本市の独自サイトがないが、どのように市民の安全安心を確保するのか。

答 Jアラートによる情報伝達後は、大規模な災害時と同様に防災・防疫ウェブサイトや市ウェブサイトへの掲載等、あらゆる手段を活用し、市民へ逐次、迅速に伝達していく。仮に本市にミサイルが着弾し、国が武力攻撃事態等に認定した場合には、市国民保護計画に基づき、関係機関等と連携して避難誘導等を行なうこととなっている。

なお、今年度は市広報や防災訓練において啓発を図っていく。



国の国民保護ポータルサイト

東部地区の市街化調整区域解除について

問 東部地区の市街化調整区域解除を望む声が地元から高まってきているが見解は。

答 令和22年頃に向け、少子化による急速な人口減少が想定されることから、都市計画法に定められた決定権者である県は、市街化区域の拡大に慎重な姿勢である。

本市では、平成31年に策定した市市街化調整区域地区計画運用指針に基づき、物流系と住宅系の地区計画を2件決定し、8地区の事前打ち合わせをしているが、現時点では、東部地区に対する事前打ち合わせ等はない状況である。

今年度改訂予定の市都市計画マスタープランで、こおりやま広域圏17市町村と地域発展に寄与していく。



自由民主党郡山市議団

村上 晃一 むらかみ こういち 議員



人・農地プランの作成に向けた取組みの強化について

問 農業委員会、JA等と連携しながら、プラン作成に向けた取組みを強化すべきと考えるが見解は。

答 来年4月の法律施行に向け、効率的な農地の集積・集約化や、認定新規就農者のスタートアップ支援などが国の各種補助事業要件となっているため、その作成意義等を広く周知していく。

また、地域の代表が、スムーズに話し合えるよう、アンケート調査や、耕作図面の作成などをサポートする等、県やJA、土地改良区、農業委員会など関係機関と連携していく。



水田農業地区



新政会 会田 かいだ
あいた

一男 かずお
議員



観光誘客について

問 アフターコロナを見据え、地域経済の活性化のための観光誘客をどのように図っていくのか。

答 こおりやま広域圏の自治体と連携し、観光資源をPRするウェブサイト構築等を行い、17自治体を周遊してもらえるような観光に取り組む。

更に、猪苗代湖一周サイクルツーリズムのPR等により誘客を図るほか、デコ屋敷のトイレ改修等の受入環境整備や宿泊施設の高付加価値化のための予算を計上している。

これらに加え、新しい観光スタイルの検討により、誘客や地域経済活性化を図っていく。

マイナンバーカードの普及促進について

問 カードの普及促進には更なる周知が必要であり、あらゆるツールを活用して広報すべきと考えるが見解は。

答 交付率向上には、市民が申請しやすい体制を整備し、カード取得の利便性等を広報、周知することが重要と認識している。

広報については、継続的にウェブサイトやラジオCM、各種イベントでの周知活動等を行ってきたが、更に新聞への折り込み広告等に加え、広報こおりやま7月号で、カードの申請方法やメリットなどをやさしく解説した特集を掲載する。



マイナンバーカードセンター

カーボンニュートラル※に向けた啓発活動について

問 市民が省エネ・節電を含めた行動を起こすことが直ちに求められるが今後の啓発への取組みは。

答 国は、「電力需給に関する総合対策」を決定し、一層の節電に取組む必要があるとしており、本市においても、2021年度は本庁舎等の電気使用量を2013年度比較で約1千200万円削減した。

6月の環境月間にあわせた市民への様々な啓発や、富久山クリーンセンターへの体感型環境学習施設の整備等を進めており、エネルギー問題はさまざまな課題の解決に繋がるため、多面的に取り組んでいく。

※カーボンニュートラル：二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林などによって吸収・除却された量を差し引いて排出量の合計を実質的にゼロにする考え方。

開成山地区体育施設の一般市民の利用について

問 民間企業が運営することで利益が第一となり、市民の利用が困難になることや、施設への要望等が反映されるのが懸念されるが見解は。

答 開成山地区体育施設整備事業は、民間の資金及びノウハウを活用することにより、効率的で質の高い公共サービスを提供する事業であり、市民や団体などが自ら体を動かす機会等を通して、スポーツ拠点の形成を図ることを目的としている。

このため事業者は、利用者ニーズの把握に努め、満足度の高い事業運営を展開すると考えている。



開成山地区体育施設



立憲民主党郡山

柳田 しょういち
やなぎだ 議員





新 政 会
折 笠 正 議員
おりかさ たかし



子どもたちに対する包括的支援の対応と対策について

問 子どもたちの心の状態の変化を感じ取り支援に繋げるための今後の対応と対策は。

答 各学校で日々の健康観察や定期的なアンケート調査等により、児童生徒の心身の状況の把握に努めるとともに、教育委員会においても、スクールカウンセラー等による支援など専門スタッフと学校との組織的な対応のほか、研修等を実施し、教職員の資質向上を図っている。

今後も、学校保健委員会や令和5年度までに全校設置予定の学校運営協議会等を活用し、家庭、学校、社会全体で見守る体制作りを進めるとともに、こども部や市民部等関係部署と連携を図っていく。

高齢者の有業率向上への取り組みについて

問 65歳以上の仕事を持っている人の割合を向上させるための取り組みについて見解は。

答 ハローワーク郡山に60歳以上を対象とした生涯現役支援コーナーを設置し、令和3年度に700人を超える再就職を支援したほか、郡山商工会議所等6団体に対し高齢者の就業機会の確保を要請した。

さらに、市シルバー人材センターへの運営費助成のほか、入会方法等を広報こおりやま等で情報発信している。

今後も、各経済団体や関係機関と協奏し、就業機会の確保と社会参加の促進を図っていく。



シルバー人材センターの除草作業

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。	●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様

(請願者住所)

(請願者氏名) ※

(紹介議員)

〇〇〇について

請願趣旨

請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要



陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様

(陳情者住所)

(陳情者氏名) ※

〇〇〇について

陳情趣旨

陳情事項

※氏名は、署名又は記名押印が必要です。



日本共産党郡山市議団

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員

住宅扶助費見直しの経過等について

問 令和2年12月定例会で、生活保護の住宅扶助上限は、福島市等と比較すれば、引き上げが必要ではとの質問に、本市の賃貸物件賃料の状況を踏まえ、国に見直しを要望しているとの答弁があった。その後の本市の取組みや、国からの通知などの変化は。

答 令和3年3月31日と令和4年4月18日に文書で、厚生労働省社会・援護局長に対し、住宅扶助の限度額について福島市と同等となるよう、見直しの要望を行った。

限度額の見直し等について、現時点において、国から新たな通知等がないことから、今後もしも引き続き、様々な機会を捉え、国に対し要望していく。

学校司書の雇用形態について

問 長期休業中も研修や準備等の時間が保証されなければならぬ以上、学期雇用という雇用形態はふさわしくないと考えるが見解は。

答 市雇用の学校司書に対する業務内容調査や、PTA雇用の学校司書全員から雇用形態の現状等やそれらに関する意見の聞き取り調査を進めているほか、他地域の状況を視察し、調査研究してきた。

今後はそれらを踏まえ、長期休業中に想定される業務内容や研修に係る時間の確保等について調査研究し、学校司書のより良い雇用形態について検討していく。



マスクの着用が困難な児童・生徒への配慮について

問 発達障がいやアレルギーなどが原因で、マスクの着用が困難な児童生徒にどのような配慮しているのか。

答 発達上の障がいや健康上の理由でマスクの着用に支障をきたす可能性のある児童生徒に対しては、個別の配慮が必要であると認識しており、2月に実態調査を行った。

現在、国のマニュアルに基づき、不織布マスクの使用を推奨しているが、実態調査を踏まえ、発達障がいにより触覚、嗅覚等の感覚過敏の特性をもつ児童生徒や、不織布マスクによる頭痛等症状がある児童生徒は、布マスクやウレタンマスクを使用するなど、各学校において実態に応じた配慮をしている。



志翔会

もりあい
森合ひでゆき
秀行 議員

鯉の養殖におけるアクアポニックス※の可能性について

問 鯉の養殖の付加価値を高めるため、鯉と野菜栽培のアクアポニックスの実証実験を検討してみているかどうか。

答 日本大学工学部より金魚と観葉植物のアクアポニックスの寄贈を受け、本庁舎1階ロビーで実験をしている。

鯉による実証実験は、養殖用水槽や水耕栽培などの設備投資や水の循環に必要な電力等の維持管理費が想定されるが、産業としての可能性を見極め、福島大学や日本大学工学部等と連携し、ビジネスとして成立するか研究していく。

※アクアポニックス：水耕栽培と水産養殖を組み合わせた循環型食糧生産技術のこと。



本庁舎のアクアポニックス



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



東北パラ水泳選手権大会の継続的な誘致について

問 今大会を視察し、今後の継続的な大会誘致に向けた取り組みの一助としてはどうか。

答 障がい者スポーツ教室の開催やシティーマラソン大会への車いす部門の設置等の経験から北海道・東北パラ陸上競技を迎えることとなり、今までの経験が活かされていると捉えている。

今後も「誰ひとり取り残されない」まちとして、障がいがある方も十分に実力を発揮できるような条件を整えることは、本市が目指すSDGs未来都市としての大きな使命であると感じている。



郡山しんきん開成山プール

循環型社会を意識した食器について

問 小さな子でも食べ残しを少なくでき、数年使った後にリサイクルする仕組みを設けた今までのものより安価な食器がある。

循環型社会を意識した食器の導入を検討し、幼児教育の段階からSDGsを身につけるようにしてはどうか。

答 循環型社会を意識した食器を使用することは、食べ残しを減らす効果や、樹脂製品の廃棄量を減らす効果も期待でき、SDGsの視点から非常に有用と考えている。

今年度中にいくつかの保育所で試験的に使用・検証した後、本格的な導入について検討していく予定である。

本市の産学官連携による事業支援施策について

問 ふくしま医療機器開発支援センターと市内企業との医工連携事業、市内外の大手ベンチャー企業と地域企業の協業を支援するマッチング事業における支援施策と成果は。

答 平成27年の事業開始から約1千200万円の開発費を助成し、延べ11件の製品開発が行われ、そのうち内視鏡診療時の感染症予防用のマウスピースが市販化された。

また、マッチングイベントには、延べ173社が参加、107件の個別面談を実施し、これらにより、知的財産を活用した新たな事業創出や販路開拓等の成果を得ている。



ふくしま医療機器開発支援センター

幼保小の架け橋プログラムによる幼児教育推進について

問 幼稚園・保育所と小学校の連携強化を進める幼保小の架け橋プログラムによる各自治体の幼児教育推進体制の理解促進や共通資料等の全国共有により、自地域、自校の状況を見極め、取組みを進めていくことが求められると考えるが見解は。

答 平成21年度より、就学前後の円滑な接続と問題を抱えた子どもの支援体制の充実を図るための事業を実施し、平成26年度には、幼保と小の円滑な接続に向け策定した市版スタートカリキュラム等により教育や保育を実践してきた。今後も、プログラムのねらいやモデル地域の状況等を踏まえ、幼保小連携推進事業を一層充実していく。



緑風会

大木 進 議員





志翔会

近内 こんない

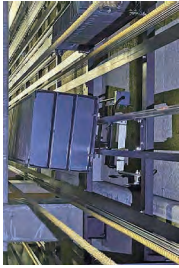
利男 としお
議員

けんしん郡山文化センター の復旧方針について

問 地震で被害をもたらした音響反射板のオモリを撤去し、モーターによる直接制御に切り替えて、地震に対して同じような被害に遭わない対策をとるべきと考えるが見解は。

答 舞台吊物装置の地震対策については、令和4年3月の福島県沖地震の復旧の際に検討したが、早急な復旧が困難だったことから原状復旧とした。

舞台装置の改修については、施設の躯体・設備等調査等の結果を基に、今年度整備・運営方針を決定していく中で検討していく。

大ホール舞台吊物昇降用
ガイドレール破損

無料法律相談の広域圏での 利用について

問 無料法律相談は、市民または市内在勤者に限られているが、このような費用対効果の高いサービスは、広域圏全体で利用できるようにして広報すべきと考えるが見解は。

答 直近3年間の利用率は、令和元年度が504枠中406枠80.6%、令和2年度が430枠85.3%、令和3年度が444枠88.0%となっている。

市外在住者の法律相談については、法テラスをはじめ、県弁護士会や民間の法律事務所等が県民を対象に実施している無料法律相談を案内するなど、関係機関との連携を図り、居住地に関わりなく全ての相談者が、専門家の支援のもと問題を解決できる機会の確保に努めている。

生産者への直接的支援について

問 飼料、肥料、燃料等の高騰に対し、農業を基幹産業と位置付けている本市がいち早く生産者の直接支援を打ち出すべきと考えるが見解は。

答 本年度当初予算で本年産用の水稻種子を購入する市内農家約6千人に購入代金の一部を助成するとともに、将来的に需要が見込まれる輸出入米に積極的に取り組む農業者を支援する事業や、大豆栽培の大規模団地化の推進と基本技術の励行による生産性の向上を緊急的に支援する事業に取り組んでいる。

今後も、国や県の動向を注視するとともに、県やJA、農業委員会等関係機関と連携しながら柔軟な支援に取り組んでいく。

音楽堂（コンサートホール） の建設について

問 令和6年は市制施行100周年と記念すべき区切りの年となるが、音楽堂建設に向けて一歩を踏み出す考えは。

答 文化施設については、市公共施設等総合管理計画等に基づき、昨年度、躯体・設備等の調査を実施した。

これまで、けんしん郡山文化センターをはじめ、音楽・文化交流館、中央公民館の多目的ホール設置など、音楽環境の整備に努めてきた状況を踏まえ、現在は、けんしん郡山文化センターの長寿命化が最優先課題と考えており、昨年度の調査を基に改修方針を検討する。



けんしん郡山文化センター



郡山市議会公明党

おじま
小島 寛子 ひろこ
議員



学校図書館整備計画の策定について

問 国の学校図書館図書整備計画や学校図書館ガイドライン等を活用して、本市の具体的な整備計画を策定してはどうか。

答 本市では、学校図書館法や小学校・中学校学習指導要領等を総合的に勘案し、学校図書館全体構想計画の策定を進めているところである。

更に、市立学校における学校図書館や学校司書の目指す姿を明確にし、すべての子どもたちの夢と可能性を支える学校図書館を目指し、本市の学校図書館整備計画を策定していく。



図書館の本棚

保育所長会議等について

問 これまで培ってきた本市の保育力を更に倍増させるためにも、保育所長会議と主任保育士会議等に本市の関わりを深めることが重要と考えるが、今後の取り組みは。

答 平成27年に子ども・子育て支援制度が本格的にスタートし、小規模保育事業等の地域型保育事業が創設されるなど、施設数が倍増し、施設の種類の多様化してきた。

このため、現場の保育所長等の立場を理解することが重要であることから、今後の認可保育所長会議には市長も参加し、出席者の声を聴くこととしていく。

議会の傍聴

本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。

議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。

	本 会 議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30 分前から	会議開始 40 分前～20 分前

※本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。



－オンライン傍聴って？－

新しい生活様式としてパソコンやスマートフォンで本会議の様子が御覧いただける「議会中継」を行っています。

市議会ウェブページより、「生中継」、または、4日後（土日祝日を除く）からは「録画中継」を御覧いただくことができます。





立憲民主党郡山

八重樫 やえかし小代子 さよこ

議員



学校給食の保護者の負担軽減について

問 給食費の2分の1相当額の支援を第1学期に引き続き、第2学期も継続して実施とあるが、学校給食の保護者の更なる負担軽減について、今後の方針は。

答 保護者の負担軽減については、国の交付金を活用し、第2学期における給食費の2分の1相当額を支援する補正予算案として2億44万円を本定例会に提出した。

なお、市独自の支援策として、第3学期の牛乳提供相当額5千304万円を支援する予定であるが、

今後、国の財政支援等を踏まえ、総合的に検討していく。



本市の学校給食

公共施設の駐車料金の庁内の検討状況について

問 開成山公園等駐車場の有料化に係る条例議案が提案され、「公園からスタートし、市役所等も庁内で検討中であり、総合的判断をする」との説明があったが、庁内では、どのような体制でどのような内容の検討がされているのか。

答 庁内の検討状況については、事業推進のため連携した対応や情報共有などを目的とし、開成山地区スポーツアンドパーク整備事業推進チーム設置要綱を制定した。

本チームは庁内関係部署で組織しており、これまで3回の会議を開催し、開成山公園内駐車場における使用料や無料時間及び民間駐車場の料金等の情報収集した内容を協議し、情報共有している。

小山田地域の市営住宅団地内の駐車場整備について

問 団地内の空き地を活用し、福祉・介護・医療等のサービス事業者が利用できるスペースを確保し、駐車場の整備を進めることについて見解は。

答 福祉・介護・医療等のサービス事業者が訪問する場合、入居者や周辺環境に支障がない範囲で各種サービスを実施しているものと認識していることから、駐車場を整備することは考えていない。



市営団地の空き地

有機農業産地づくりの推進体制について

問 プロジェクトチームを立ち上げ、組織横断的、重点的に検討していくことについて見解は。

答 有機農業の推進については国の交付金を活用し、交付対象である市内3農業団体が核となり、県、JA等と連携して推進体制を進めている。

本市としては、学校給食など、関連する部局間で横断的な意見交換や、情報共有を図るとともに、有機農業に対する理解促進や推進体制の構築に向け、関連するこおりやま広域圏の市町村とも連携し、今後も農商工連携により地域ぐるみで継続的に有機農業産地づくりの推進が図られるよう取り組んでいく。



虹とみどりの会

蛇石 へびいし郁子 いくこ

議員





日本共産党郡山市議団

たかはし よしはる
高橋 善治 議員

ひとり親家庭医療費助成現物給付の実施について

問 こども医療費においては、現物給付の全面实施が始まるが、早い時期にひとり親家庭医療費助成の現物給付に踏み切るべきと考えるが見解は。

答 県内で先行導入している市により実施方法が異なっており、国民健康保険加入者分については、現物給付の実施により、市への国庫負担金等が減額されることが、国から示されている。

このため、他市の状況や本市のこども医療費助成現物給付化のノウハウを参考に、関係機関や市の関係部署と十分に協議・調整し、令和6年度の導入を目指し課題等の整理を進めていく。

令和4年度国保税値上げの撤回について

問 加入世帯に過度な税負担を求めることは、社会保障制度としての役割を低下させ、健康で文化的な生活を営む阻害要因になりかねない。

国庫の負担を増やすことと、値上げ案を撤回し不足財源を一般会計からの繰入で補うことを求めるが見解は。

答 全国市長会等を通し、国庫負担割合の拡大など国への要望を継続的に行っている。

国民健康保険運営協議会に税率等について諮問し、引き上げの答申があったことを踏まえ、撤回や不足財源を一般会計から繰り入れることは考えていない。



郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会



令和4年4月25日、5月23日、6月8日開催の委員会では、各審議項目について協議を行いました。

■審議項目

- ・消費拡大を目指す条例案について
- ・米の日等について
- ・議会・議員の取組みについて
- ・参考人招致について

また、協議に合わせて、当局から次の説明を受け、種々質疑を交わしました。

- ◇米の提供拡大について
- ◇米飯給食の拡大について
- ◇販売・消費促進、販路拡大について



市議会ウェブサイト



郡山市議会のウェブサイトでは、定例会日程など様々な情報を発信しておりますので、ぜひ御覧ください。

郡山市議会



令和3年度政務活動費の収支報告をお知らせします。
会派名、所属議員数は、令和3年度末時点のものです。



収支報告書

(単位：円)

要請・陳情 活動費	支 出 内 訳						差し引き額 【市への返還額】	会派 執行率 (%)
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	通信運搬・ 自動車燃料費		
0	0	141,556	890,124	0	1,149,871	301,436	4,567,185	60.29
0	0	86,091	502,544	0	214,501	418,430	4,688,294	52.64
0	0	0	356,793	0	123,558	283,166	1,668,000	65.25
0	0	190,351	201,609	0	278,640	114,981	530,535	88.95
0	0	5,859	68,893	0	0	0	591,169	83.58
0	0	0	171,000	0	94,276	0	2,434,724	9.83
0	0	311	41,731	0	5,484	204,756	100,094	95.83
0	0	428	104,480	0	15,048	0	84,984	92.92
0	0	0	174,568	0	0	0	1,025,432	14.55
0	0	0	0	0	0	0	1,200,000	0.00
0	0	0	0	0	0	0	1,200,000	0.00
0	0	424,596	2,511,742	0	1,881,378	1,322,769	18,090,417	59.35

政務活動費とは？

政務活動費とは議員の調査研究などに必要な経費の一部として支給される費用です。

■交付概要

会派に対し、議員一人当たり月額10万円が支給されます。

■収支報告

会派は収支報告書等を作成し、領収書等を添付して、議長に提出します。

また、残金は市へ返還します。

■情報公開

収支報告書や領収書等は市議会ホームページで公開します。

また、市政情報センター（本庁舎1階）又は議会事務局（西庁舎6階）でも閲覧することができます。

議員表彰

5月25日に開催された第98回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰されました。

■議員15年以上表彰

塩田 義智 議長
近内 利男 議員
久野 三男 議員
佐藤 政喜 議員
諸越 裕 議員

■議員10年以上表彰

佐藤 徹哉 議員
栗原 晃 議員
廣田 耕一 議員
石川 義和 議員



令和3年度政務活動費収支報告

会 派 名	項 目	会派への 交付額	支 出 額	支 出 内 訳			
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費
志翔会	(9人)	11,500,000	6,932,815	0	1,620,280	2,829,548	0
新政会	(8人)	9,900,000	5,211,706	0	0	3,990,140	0
郡山市議会 公明党	(4人)	4,800,000	3,132,000	0	0	2,368,483	0
緑風会	(4人)	4,800,000	4,269,465	0	0	3,483,884	0
立憲民主党郡山	(3人)	3,600,000	3,008,831	0	0	2,934,079	0
自由民主党 郡山市議団	(3人)	2,700,000	265,276	0	0	0	0
日本共産党 郡山市議団	(2人)	2,400,000	2,299,906	0	0	1,983,124	64,500
虹とみどりの会	(1人)	1,200,000	1,115,016	0	0	995,060	0
無所属の会	(1人)	1,200,000	174,568	0	0	0	0
立憲民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0	0
国民民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0	0
合 計		44,500,000	26,409,583	0	1,620,280	18,584,318	64,500

9 月 定 例 会 開 催 予 定

日	月	火	水	木	金	土
		9/6	7	8	9 事務整理日 (休会)	10 休会
		本会議一開会	議案調査（休会）			
			※陳情締切			
11 休会	12	13	14	15	16	17 休会
	本会議（市政一般質問）				常任委員会	
	※請願締切					
18 休会	19 休会	20	21 事務整理日 (休会)	22	23 休会	24 休会
		常任委員会		本会議一 補正予算等先議		
25 休会	26 決算議案書熟読日 (休会)	27 決算議案書熟読日 (休会)	28 決算議案書熟読日 (休会)	29	30	10/1 休会
				決算特別委員会		
2 休会	3	4				
	決算特別委員会					
		本会議一閉会				

- ・ 正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・ 本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・ 生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・ 録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継

議会モニターを募集します！

■議会モニターとは？

開かれた議会を目指し、市民の意見や提言を広く聴取するものです。

■職務…こおりやま市議会だより第202号（令和4年11月発行）に関するアンケートに回答いただきます。

■募集人数…5名程度

モニターに決定した方には、8月末までに文書でお知らせいたします。

■応募締切…8月22日(月)

■その他…報酬はありません。

問い合わせは議会事務局（下記応募先）まで。



皆様の御応募を
お待ちしております！



対 象

次の4つを全て満たす方が対象です。

◇18歳以上の方

◇市内に居住または市内の学校に在籍している方

◇公務員、各種議会議員、各種行政委員ではない方

◇市議会のしくみや運営、市政や地域社会の発展に関心がある方

議会モニター 応募用紙

【応募先】郡山市議会事務局 TEL: 024-924-2521 FAX: 024-938-2810
メール: soumugiji@city.koriyama.lg.jp



QRコードからも
応募できます

住所	〒				
ふりがな		性別	任意記載 男・女	年齢	歳
氏名					
学生の場合 学校名		電話番号			
資格	該当する項目に✓チェックを入れてください。 ☐ 公務員、各種議会議員、各種行政委員ではありません。 ☐ 市議会のしくみや運営、市政や地域社会の発展に関心があります。				

御記入いただいた個人情報は、郡山市議会モニター制度以外の目的には一切利用しません。

編集 後記

表紙は、本年3月16日の福島県沖地震による被害から復旧し、6月に全面再オープンした中央図書館にスポットを当てました。コロナ禍ですが、おはなし会や映画会も好評で、こども図書館にも多くのこどもたちが訪れています。

また、今号では【定例会】を解説する特集ページを掲載。市を運営していく上で重要な予算や条例などを決定する年4回の定例会のうち、6月定例会を解説しています。これからも開かれた市議会を目指して種々改善していきますので市民の皆様の忌憚のない御意見をお待ちしております。（箭内）